

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第298号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年12月12日 00時11分ごろ	
発生場所	千葉県木更津市木更津港防波堤西灯台から真方位312° 1.5海里付近 (概位 北緯35° 23.6′ 東経139° 50.3′)	
事故等調査の経過	平成21年12月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{ミーアキャット} MEERKAT（フィリピン共和国）、4,560トン 9159373（IMO 番号）、LOADSTAR INTERNATIONAL SHIPPING INC B 押船 ^{たいき} 太貴丸、148トン 136781、大開マリン株式会社 C 土運船 S-601 なし、大開マリン株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長A、免状不詳 B 船長B、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船首部外板に凹損 B 左舷側手すりの曲損 C 左舷外板に凹損及び揚錨機油圧管破裂	
事故等の経過	A船は、船長Aほか20人が乗り組み、木更津港木更津航路の北側において錨泊中、B船は、船長Bほか4人が乗り組み、C船と一体型プッシャーバージ（以下「B船押船列」という。）となって、木更津航路の北側において錨泊中、A船が走錨し、平成21年12月12日00時11分ごろ、A船の右舷船首部とC船の左舷側とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北、風力 5 海象：潮汐 上げ潮の末期	
その他の事項	錨地の水深は、約15mであった。 A船及びB船押船列ともに錨鎖の伸出量は、5節であった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり A船は、木更津港において錨泊中、走錨に気付くのが遅れたため、B船押船列と衝突した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、木更津港において、A船及びB船押船列が錨泊中、A船が、走錨に気付くのが遅れたため、B船押船列と衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	